

1 戦後80年の取り組みについて

戦後、海外引揚開始80年、ユネスコ世界記憶遺産登録10周年を契機とした次世代への史実継承に向けた新たな取り組みを実施

- 1. シベリア抑留・引き揚げ資料展in西市民プラザ
～引き揚げのはじまりと市民のおもてなし～**
- 2. 折り鶴アートプロジェクト（折り鶴の募集）**

1 戦後80年の取り組みについて

1. シベリア抑留・引き揚げ資料展in西市民プラザ ～引き揚げのはじまりと市民のおもてなし～を開催します

西地区は、舞鶴港への最初（昭和20年10月7日）と最後（昭和33年9月7日）の引揚船が入港し、「引き揚げの母」とも呼ばれる田端ハナ氏の地元でもあります。舞鶴引揚記念館収蔵品の中から、西地区の引き揚げにゆかりの深い資料と今年10周年を迎えた世界記憶遺産登録資料を中心に展示します。

西地区で実施する初めての巡回展。

◆**展示期間**：令和7年7月26日（土）～8月7日（木）

◆**展示時間**：午前9時～午後5時

（ただし、26日・27日は午後8時まで）

◆**展示場所**：西市民プラザ 展示室（1階）

◆**入館料**：無料



西市民プラザ

1 戦後80年の取り組みについて

主な展示品 1（引き揚げに関する写真・パネル）



引き揚げ当時の
舞鶴西港

- ・撮影時期は不明。
- ・倉庫など港湾施設が残る西港の沖合には列を組んで引揚船が並んでいる。



サハリンのホルムスク(真岡)からの帰国者を乗せた
引き揚げ最終船「白山丸」

- ・昭和33年9月7日
- ・引き揚げの最終船は西港の第二埠頭に入港。
- ・埠頭には引揚者を待つ多くの関係者が押し寄せている。



田端ハナさん

- ・西地区に在住
- ・明倫婦人会に所属。
- ・引揚船第1船から最終引き揚げまでお出迎えに携わり「引き揚げの母」と呼ばれた。
- ・写真は引き揚げ40周年を記念して行われた「海外引揚40周年記念引揚港”まいづる”を偲ぶ全国の集い」でお出迎え役を演じる田端ハナさん。

1 戦後80年の取り組みについて

主な展示品 2



引揚船模型

- ・雲仙丸をはじめ西港に入港したと考えられる引揚船の模型を展示。
- ・雲仙丸は昭和20年10月7日に舞鶴西港の第二埠頭へ最初に入港した引揚船。
- ・その後も舞鶴港へは多くの引揚船が入港し、約66万人が古郷への第1歩を踏み出した。



白樺日誌

- ・瀬野修氏が3年間の抑留中に故郷日本を想う気持ちを和歌の形で書き留めた記録。
- ・紙が入手できなかったので、白樺の皮に煤をインク代わりにして書き留めた貴重な資料。

世界記憶遺産登録資料(レプリカ)



記録画

- ・安田清一氏が1948年にソ連側からメーデーの様子を描くように受け取ったスケッチブック1冊。
- ・抑留中に描いた絵を奇跡的に持ち帰ることが出来た貴重な資料。

○シベリアの収容所で手作りされたスプーンや麻雀牌の展示もあり

1 戦後80年の取り組みについて

展示案内・講話について

(1) 語り部による展示案内：期間中毎日 正午～午後4時

協力：NPO法人 舞鶴・引揚語りの会

(2) 学芸員による講話：令和7年8月3日(日)

①午前10時～午前11時

②午後1時～午後2時

講師：舞鶴引揚記念館 学芸員

1 戦後80年の取り組みについて

2. 折り鶴アートプロジェクト

戦後80年、ユネスコ世界記憶遺産登録10周年が重なる特別な年に、市民の皆さんとともに引き揚げのまち舞鶴から平和への願いを発信するため「折り鶴アート」を制作。10月の平和祈念式典で作品を披露予定。

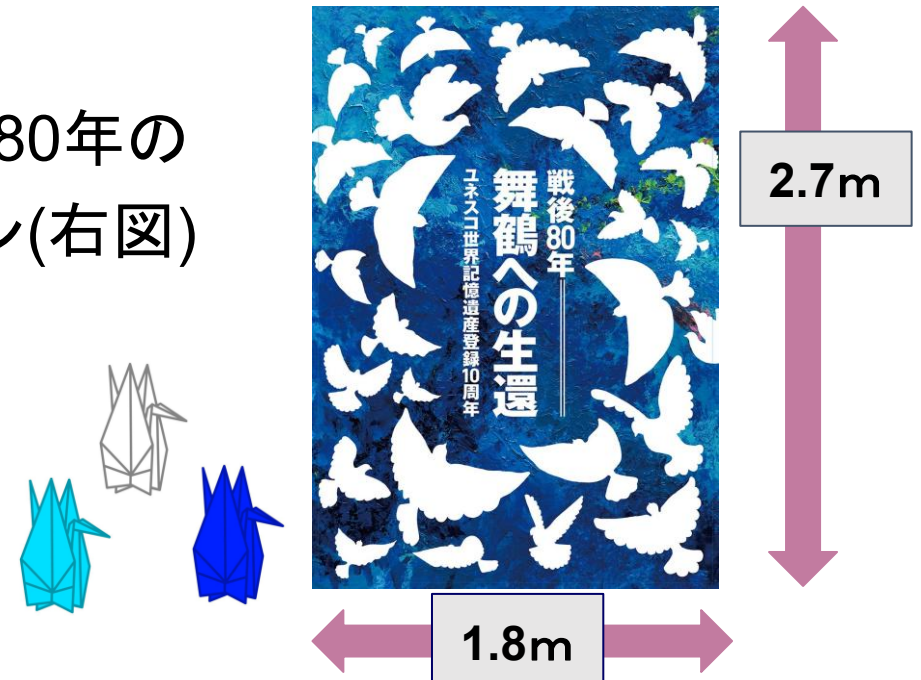
◆デザイン

平和のシンボルのハトと舞鶴の海を描いた戦後80年の「平和の願いを未来につなぐ」シンボルデザイン(右図)を折り鶴で制作

◆サイズ

高さ：2.7m × 幅：1.8m

◆折り鶴の数量 約2万5千羽



1 戦後80年の取り組みについて

折り鶴の募集について

(1) 募集方法

①「折り紙」と「募集箱」を設置。

(設置場所) 引揚記念館、市役所本庁ロビー、市役所西支所、公民館など

②団体などでご協力いただく場合

100枚単位で折り紙を提供します。

(申し込み) : Web申込フォーム(舞鶴市または引揚記念館のHP、QRコードから)、電話、FAXで引揚記念館へご連絡ください。

(2) 募集期間 : 令和7年6月24日(火)~10月5日(日)

募集状況により変更になる可能性があります。



1 戦後80年の取り組みについて

主な今後の引き揚げ関連事業(予定)

◆次世代「平和未来ワークショップ」

7月27日(日) / 商工観光センター

◆朗読劇「約束の鎮魂歌」シャトルバス運行

8月2日(土)～4日(月) / 会場↔引揚記念館

◆大阪・関西万博への出展

9月8日(月)～9月14日(日)

/ 関西万博 関西パビリオン京都ブース

◆シベリア抑留画展

10月7日(火)～10月12日(日) / 総合文化会館

◆平和祈念式典

10月12日(日) / 総合文化会館

※ 1 部式典、2 部市民音楽劇

◆引揚記念館 館内イベント

●セタイイベント(7月1日(火)～7月7日(月))

●夏休みイベント(8月11日(祝))

問い合わせ先

	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
○シベリア抑留・引き揚げ 資料展in西市民プラザ	市民協働推進課 西市民プラザ	佐藤 志賀	0773-66-1073 0773-77-0086	0773-62-9891 0773-777-0508	shimin@city.maizuru.lg.jp n-plaza@city.maizuru.lg.jp
○展示資料 ○折り鶴アート	舞鶴引揚記念館	嵯峨根 松本	0773-68-0836	0773-68-0370	hikiage@city.maizuru.lg.jp